

日大工学部県人会、大曲農高、たけや

コラボ第2弾、8月限定販売

## 花火表現バナナボート



コラボ商品をPRする（左から）堀川さん、老松市長、高橋さん、熊谷さん

日本大学工学部(福島県郡山市)秋田県人会と大曲農業高校(大仙市)、たけや製パン(秋田市)が共同開発した商品「花火ボート」が1日から1カ月間、期間限定販売される。学生と生徒たちは「お盆の帰省客や全国花火競技大会『大曲の花火』(29日開催)を訪れた観光客に食べてほしい」とPRする。



3者によるコラボ商品の開発は、今年2月に横手市の小正月行事「かまくら」に合わせ販売した「秋田のかまくらシュー」に続く第2弾。本県出身の学生や教職員でつくる県人会の代表・堀川瀬奈さん(20)=3年、仙北市出身=が大曲農業高卒業生であることをきっかけに、コラボが始まった。

「花火ボート」はたけや製パンの定番商品「バナナボート」をアレンジした。屋台のチョコバナナや夜空をイメージし、ココアスポンジの生地チョコをかけたバナナ、ホイップクリームを挟んだ。カラフルなチョコスプレーのトッピングで夜空を彩る花火を表現した。

昨年4月からオンライン会議でどんな商品にするかを検討。試食会を重ねて完成させた。堀川さんは「花火をどう表現するかが一番悩んだ」と振り返る。

7月31日には堀川さんと大曲農高食品科学科の熊谷友結さん(3年)、高橋希々さん(同)が大仙市役所を訪れ、老松博行市長に商品完成を報告した。試食した老松市長は「甘すぎずおいしい。花火にきた観光客に食べてもらえるよう、市としても宣伝したい」と話した。



1カ月限定販売する「花火ボート」

県内のスーパーなどで販売する。8月23日午前10時半～正午にはグランマート中通店(大仙市大曲中通町)で生徒が販売する。(三浦ちひろ) (令和8年8月 1日(土)秋田魁新聞より一部抜粋)